

## 第1回 池田市上下水道事業経営審議会会議録

日 時 令和4年4月21日（木）  
午前10時～午前11時15分  
場 所 池田市上下水道庁舎 研修室

### 次 第

#### 1. 開 会

#### 2. 委嘱状交付

#### 3. 管理者挨拶

#### 4. 出席者紹介

#### 5. 議 事

(1) 会長の選出について（座長指名）

関西大学大学院会計研究科教授 柴 健次氏

(2) 副会長の選出について（会長指名）

ノイ・フィールド(株)代表取締役 藤田 祥子氏

(3) 諮問書の提出について

増井上下水道事業管理者より、柴会長へ

(4) 上下水道事業の現状と課題について

事務局による説明（別紙資料参照）

(5) その他

次回以降の審議会の日程について

第2回審議会の日程は令和4年5月19日（木）

#### 6. 閉 会

## 第1回池田市上下水道事業経営審議会 質疑内容

### ○中村委員

水道料金について、池田市は豊中市より安いと思っていたが、いつの間にか逆転している。それだけ池田市の状況が厳しくなったということか。ここ15年、20年ぐらいでどのような状況になったのか教えてほしい。

### ◎横井課長（経営企画課）

配付資料の「水道料金 参考資料」6ページに府下33市の料金一覧表を記載しており、池田市は月10m<sup>3</sup>使用で安いほうから3番目、月20m<sup>3</sup>使用で安いほうから11番目となっている。各市の料金改定により順位が変動することもあるが、ほとんど変わっていない。豊中市も、平成22年度以降は料金改定をしていない。ただし、このグラフより、少量の利用者については、池田市は比較的安く料金を設定していることが確認できる。逡増度については平成26年1月の料金改定で見直しを図っており、緩和はされているが、料金格差はまだ存在はしている。

### ○中村委員

池田の水はおいしくて安いと認識しているが、経営が成り立たない事業はあってはならない。料金改定をする必要があるのであれば、料金改定を進めるべき。いまこそ、やるタイミングだと思う。ただし、おいしい水であることは守ってほしい。

### ○堀委員

給水原価について、摂津市以外は池田市より比較的安いのはどうしてなのか。

### ◎横井課長（経営企画課）

給水原価は1m<sup>3</sup>の給水にかかる費用、給水単価は1m<sup>3</sup>あたりの料金収入を示すものである。池田市は他市と比較して受水比率が低く、自己水率が高い。主に、池田市単独の浄水場により給水しているため、その施設の減価償却費の影響により、給水原価が他市より高くなっている。給水原価に対する供給単価の割合である料金回収率も、令和2年度決算では95.3%となっており、改善していく必要があると考

えている。

○堀委員

供給単価というのは、収入ということか。そうであれば、176円で作って、167円で売っている、売れば売るほど損をするという状況なのか。

◎横井課長（経営企画課）

現状では、そのような状況になっている。

○柴会長（補足）

指摘の内容は、今後の審議会で議論されることになる。

○中村委員

この審議会に関わる内容とは異なるかもしれないが共同溝事業に興味を持っている。水道だけでなく通信関係も影響することになるが、10年、20年先を見据えて、池田市をきれいな街にしてほしい。

以上